

おわりに

「創発」という言葉を見て、はてどんな意味だろうかと戸惑った方は少なくないはずです。事実、私も昨年本校に赴任した際には、この「創発」という言葉が耳慣れず、内容把握にもかなりの時間を要したことを思い出します。

「創発」については、研究テーマについて述べている「創発のある学び舎」の部分で定義してありますのでご覧下さい。その研究の中で、私達は1年次（「創発」が機能する学びの場の整備・改善、培いたい力）、2年次（「創発」を生み出す「めざす子ども像」）と進めてまいりました。2年間の研究からみえてきた課題に取り組み、今回の3年次の発表となりました。

実際の学習活動レベルから、今一度「創発」を見直していく必要性を感じ、3年次のサブテーマが決定されました。個の伸びは、まさに個が集団の中で積極的に関わることによって、学び合う学習集団が更に高まり、よって個自らが高まっていく、そのような子どもや授業の姿を求めてきた過程の中間地点を見ていただきました。そして、この研究紀要は4月以降取り組んできた実践をまとめたものです。正直申し上げまして、まだまだ研究の成果や実績をご報告するまでには至っていない現状です。研究発表会を機会に今後の研究の方向に対し皆様よりご示唆をいただければ幸いに存じます。

本年4月、国立大学附属学校が法人化され、半年が過ぎました。附属学校の使命としての大きな柱としての先進的研究と実践や本校での教育の実証的研究を地域公立学校との連携の中で更に深めていくためにはまだまだ多くの問題を抱えております。

問題を解決していくためには、柔軟なカリキュラム作り、学校規模の見直し等、ハード・ソフト両面の改革が求められています。このらのことにつきましても、今後更に重要な問題となると考えています。そのような意味からも、研究理論、研究実践、附属学校の在り方等、皆様方の忌憚のないご意見、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

金沢大学教育学部附属小学校
副校長 勝田 徹

研究同人

金沢大学教育学部附属小学校

校 長 島 中 洋 志

副 校 長 勝 田 徹

学 内 教 頭 中 川 隆 博

国語科 社会科 算数科 理科 生活科 音楽科 図画工作科 家庭科 体育科 道徳 情報教育 保健教育	直山 寄岸 宏野 美正 生憲 重治 子子 子美 子代 志志 典典 美和 子子	石川 寺岸 前田 戸田 江藤 今井 谷本 牧山 濱田	誠光 成実 佳人 人典 や一 や一 誠光 和光	山本 笹山 橋田 荒木 泰彦 池田 絵里 宮島 前田 橋田	穂夫 由美 彦彦 里里 典成 由美 子代 や典 典美
授業部会	木戸 松田 山本 瑞穂	濱石 田川 寺岸 和光	弘一 誠光 和光	宮島 前田 橋田 真由美	典成 由美
英語部会	直寄 笹山 安田 明一 志志	江池 藤田 絵里	佳里	乗富 水野 章子 郁代	子代
情報部会	押野 山岸 齊官 重治	山岸 戸田 今井 直人	子実 人	牧山 谷本 八崎 あ克 和典 美	や典 典美

旧同人

葛蒲田 英 夫	釣 本 直 行	大 峯 誠	松 下 浩 一
横 山 明 子	山 口 久 代	古 川 雄 次	